

日食報告書三種類発行

調 集 部

昨年の二回の日食報告書が、4月にあいついで発行されました。5月のアメリカ金環食も11月のニューギニア日食も、一昨年のインドネシア・ニューギニア日食の異常興奮に比べて、きわめておだやかな、というより一般には、ほとんど宣伝されなかった日食です。今まで数多くの日食観測グループが海外遠征をしています、何のまとめもなされないグループも多い中、このような、いわばマイナーな日食でも、きちんと報告書が出るというのは、記録という意味で大変大事なことでしょう。ていねいに書かれた報告書ほど、後に続く観測者にとって参考になるものはないのですから。

【1】 1984年5月30日アメリカ金環日食観測報告書

B5版66ページ(グラビア4ページ)、送料共1冊 750円

14名の遠征者により、モノクロ・カラーステール撮影、連続食分撮影、全天撮影、ビデオ・8ミリによる撮影、温度変化観測等、多彩な観測報告がなされています。曇ったために思うような結果は出なかったようですが、今までの皆既食とは全くちがう日食に対し、機材の選定や露出決定に苦勞した様子がくわしく述べられていて参考になります。『今回、いろいろ本を調べて痛感したのは、データの欠除であった。図鑑類やグラフ誌ならともかく天文書・雑誌であってもデータの無いものがいかに多かったことか。単なる飾りにしか使われていない写真がいかに多かったことか。』とは、誰もが感ずることでしょう。グラビアの印刷がよくないのが残念です。

【2】 1984年11月22・23日バプア・ニューギニア日食観測報告書

B5版100ページ(グラビア8ページ)送料共1冊1,000円

26名の参加者は、おそらく今までの観測隊の中で最も年齢幅の大きな隊だろうということです。カラーステール、全天、8ミリ、偏光観測、気温変化、ビデオ、本影錐、眼視等、これも多彩な観測がなされました。(誰も連続食分をやらなかったのが残念です)このグループもいくつかのグループがつぶれた結果うまれた連合グループだったのですが、その辺の様子が『今回ほど出発前に不安とスリルを満喫出来た旅ははじめてである。』に始まる木寺氏の文からうかがえます。良い旅行社ばかりではないということのようです。

【3】 1984年11月23日ニューカレドニア日食観測隊報告書

B5版62ページ、送料共1冊700円

ワープロで作られた報告書です。ニューカレドニアは皆既帯にはいていませぬので、船上観測をしなければなりません。独立運動騒ぎの中、船の確保も大変だったようですし、350トン

の船で外洋に出たからの船旅も観測も、なかなか大変だったようです。眼視とカラーステールがほとんどですが、中にはフラッシュスペクトルや気象・シャドーバンド、スケッチなど、成果があがったようです。場所がらか、これほど新婚旅行の多い観測隊もめずらしいと思いますが、それなりのほほえましい文章も見られます。現地の新聞の縮小も多くついでありますが、フランス語のためよくわからないのが残念です。誰か翻訳してくれないでしょうか。